

羅針盤

令和2年度 第4号 (通算 318号)
令和2年6月23日(火) 発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

研修の在り方について 考える

～遠隔研修を通して～

コロナウイルス感染症対策のため、日々の教育活動が制限されるとともに、岡山県総合教育センターの研修講座も形態を変更して実施しています。今年度は、例年と異なる形での研修スタートを余儀なくされましたが、同時に研修の在り方について再考する機会ともなりました。

現在は、eラーニングによる研修に加え、Web会議システムを用いた遠隔研修にも取り組んでいます。これまで実施した遠隔研修では、ライブ型の講義とともに、Zoomのブレイクアウトセッション機能等を用いて双方向の場を設定し、小グループでの情報交換や協議等も取り入れました。セッション中、システムが一部途切れてしまったグループもあり、確実な運用は今後の課題ですが、受講者からは「本校は現在Zoomを活用した遠隔授業を試行しており、研修のやり方が参考になった」「グループ協議で議論が深まり、何より生徒が遠隔授業で直面するであろう成果や課題を体験するよい機会となった」「働き方改革と経費削減が両立している」といった肯定的な意見がありました。



[遠隔研修のようす]

今後も研修目的や研修内容によっては、双方向の遠隔研修を取り入れる計画を立てています。一部、集合研修も再開する予定ですが、感染症対策を徹底した上で、受講者が集合研修ならではの学びを実現できるよう、実施していきたいと考えています。また、主体的・対話的で深い学びとの親和性が高いICT活用についても、遠隔研修で得たノウハウを生かしながら、より一層工夫をしていきたいと考えています。

学校においても、校内研修の実施にあたり、研修を計画・運営する際の視点を再確認してみてください。以下の表は主な研修スタイルと代表的な学習法・活動をまとめたものです。研修を計画・運営する際、その研修の目的を再考する中で、より効果的なスタイルや活動を探究すれば、校内研修は充実し、よりよい教育へと確実に繋がっていきます。

3つの主な研修スタイルと9つの代表的な学習法・活動

主な研修スタイル	代表的な学習法・活動
1. レクチャー (講義) 知識伝達型	1. 聴く 2. 見る 3. 考える
2. ワークショップ (協働) 問題解決型	4. 話し合う 5. 体験する 6. 創作する
3. リフレクション (省察) 省察型	7. 分かち合う 8. 内省する 9. 深め合う

(「教職員研修の手引き 2018」より)